

データで見る 金沢大学 2022

KANAZAWA
UNIVERSITY





データで見る金沢大学2022

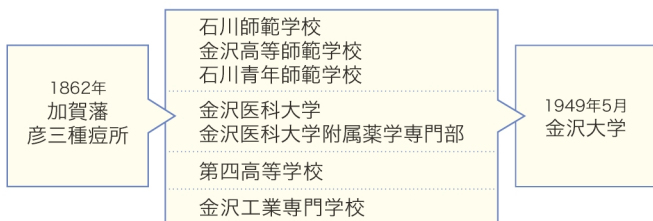
CONTENTS

1	沿革・組織	01
2	基礎データ	02
3	教育	03
4	研究	06
5	社会共創	08
6	国際交流	11
7	附属病院 / 附属図書館・資料館	13

1 沿革・組織

沿革

金沢大学の起源は1862年の加賀藩彦三種痘所まで遡ることができ、160年以上の歴史があります。さまざまな学校の歴史と伝統を引き継ぎ、1949年5月に新制大学として発足。2004年4月、国立大学法人となり、新たな一歩を踏み出しました。



教育研究組織

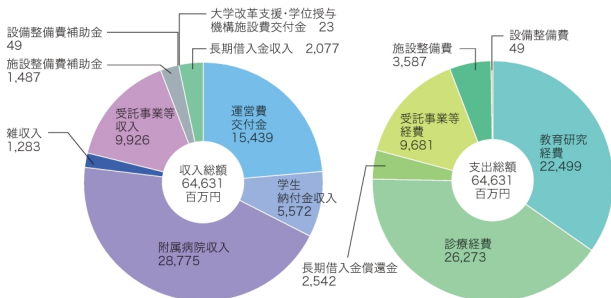
未来創成教育環	研究域
4学域・19学類	融合研究域／人間社会研究域／理工研究域／ 医薬保健研究域
融合学域 先導学類／観光デザイン学類	附属病院
人間社会学域 人文学類／法学類／ 経済学類／学校教育学類 地域創造学類／国際学類	統合創成研究環
理工学域 数物科学類／物質化学類／ 機械工学類／フロンティア工学類／ 電子情報通信学類／地球社会基盤学類／ 生命理工学類	附置研究所等 がん進展制御研究所／ナノ生命科学研究所／ ナノマテリアル研究所／設計製造技術研究所／ 高度モビリティ研究所／古代文明・文化資源学研究所
医薬保健学域 医学類／薬学類／ 医薬科学類／保健学類	附属図書館
国際基幹教育院	学内共同教育研究施設 学術メディア創成／環日本海域環境研究／ 疾患モデル総合研究／子どものこころの発達研究／ 先進予防医学研究／環境保全 各センター
大学院7研究科	保健管理センター
人間社会環境研究科	グローバル人材育成推進機構
自然科学研究科	新学術創成研究機構
医薬保健学総合研究科	先端科学・社会共創推進機構
先進予防医学研究科	国際機構
新学術創成研究科	学内共同利用施設 極低温研究室／資料館／技術支援センター
法学研究科(法科大学院を含む)	ダイバーシティ推進機構
教職実践研究科(教職大学院)	高大接続コア・センター
養護教諭特別別科	教学マネジメントセンター
	教職総合支援センター
	数理・データサイエンス・AI 教育センター

2 基礎データ

収入予算・支出予算

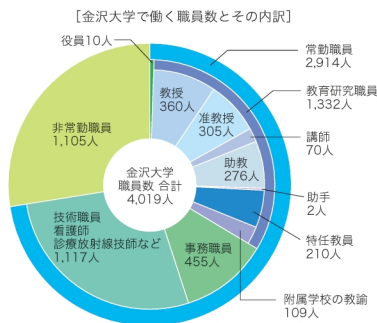
金沢大学の令和4年度予算額は、約646億円。これは、石川県の一般会計予算額の約1/9、金沢市の約1/3の金額となっています。

[2022年度の収入予算額と支出予算額] (単位:百万円)



職員数

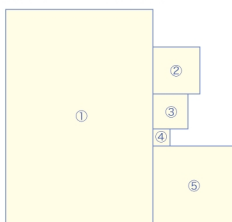
金沢大学で働くスタッフ数は、4,019人。常勤職員に占める女性割合は49%で、そのうち教育研究職員については18%となっています。



キャンパス面積

豊かな緑に囲まれたロケーションにある角間キャンパス。このメインキャンパスをはじめとする金沢大学の総面積は約257万㎡です。

[各キャンパスの面積対比]



- ① 角間キャンパス 2,008,565㎡
本部・融合学域・人間社会学域・理工学域・医薬保健学域(薬・医薬)・がん研 ほか
- ② 宝町・鶴間キャンパス 151,053㎡
附属病院・医薬保健学域(医・医薬・保) ほか
- ③ 平和町地区 79,876㎡
附属幼・小・中・高
- ④ 東兼六地区 10,517㎡
附属特別支援
- ⑤ その他 319,221㎡
臨海実験施設
能美学舎
学生寮・職員宿舍 ほか

①+②+③+④+⑤
金沢大学 総面積 2,569,232㎡



3 教育

金沢大学の特色ある学びの枠組み

2008年4月、より幅広く柔軟な学びの提供を目指し、学部学科制から学域学類制に移行。2018年4月には、時代のニーズに応じて学類再編を行い、2021年4月には融合学域先導学類、医薬保健学域医薬科学類を新設、さらに2022年4月には融合学域観光デザイン学類を新設し、4学域・19学類としました。

- 経過選択制：基礎基本を学びながら、ゆっくりと、じっくりと自分のテーマを選ぶことができます。
- 副専攻制：所属する学類・コースのカリキュラムに加え、学類やコースの区分を超えて、一人一人が主体的に興味関心のある分野を学修。学際的・横断的な学びで、視野を広げ柔軟な発想力と応用力を鍛えます。

金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS)

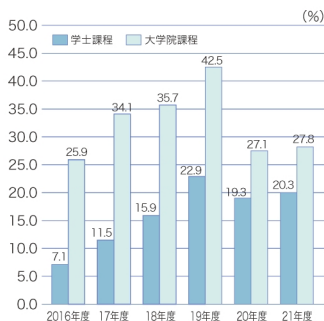
KUGSとは

金沢大学が育成する人材の具体的な姿を6つのスタンダードで定めています。グローバル化が進む国際社会において、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていくために必要な能力・体力・人間力を備えた人材の育成を目指しています。

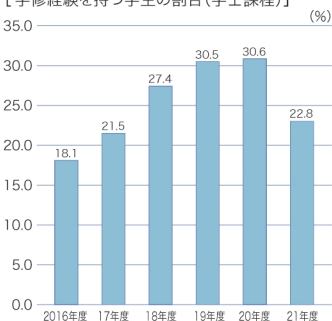
- 1 自己の立ち位置を知る
- 2 自己を知り、自己を鍛える
- 3 考え・価値観を表現する
- 4 世界とつながる
- 5 未来の課題に取り組む
- 6 新しい社会を生きる

- 共通教育科目ではKUGSを基軸とした学士課程の基盤としてGS(Global Standard)科目とGS言語科目を端緒に体系的なカリキュラムを展開しています。加えて、専門教育科目では全学域で学域GS科目にデータサイエンス応用科目等を開設し、自身の専門分野と他分野の知見を深め、未来課題の解決に挑戦する人材を育成します。
- 未来創成教育環は、教育・学修環境のDX改革を進め、教学IRと個別最適学修支援システムの活用により、学生自身が「自ら学び、自ら育む」教育環境を構築します。

[外国語による授業科目割合]



[卒業時まで海外大学等での学修経験を持つ学生の割合(学士課程)]



学生数

約10,000人の学生が在籍しています。
うち女子学生は3,646人(36%)です。

(単位:人)

(収容定員 9,566)

[学域等別学生数]

学域・学類等	学生数	研究科	学生数
[融合学域] 先導学類, 観光デザイン学類	124 (36:29%)	大学院修士 (博士前期) 課程	1,352 (330:24.4%)
[人間社会学域] 人文学類, 法学類, 経済学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 国際学類	2,973 (1,519:51.1%)	大学院博士 (博士後期) 課程	956 (280:29.3%)
[理工学域] 数物科学類, 物質化学類, 機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類, 地球社会基盤学類, 生命理工学類	2,582 (371:14.4%)	専門職学位課程 (法学研究科, 教職実践研究科)	62 (30:48.4%)
[医薬保健学域] 医学類, 薬学類, 医薬科学類, 保健学類	1,929 (994:51.5%)	計	2,370 (640:27%)
国際基幹教育院 総合教育部	149 (54:36.2%)	別科	33 (32:97%)
計	7,757 (2,974:38.3%)		

合計

10,160(3,646:36%)

()内の数値は女子学生の人数および割合です。

附属学校園幼児・児童・生徒数

[附属学校園在籍者数]

(単位:人)

学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	107(58:54%)	高等学校	366(186:51%)
小学校	635(320:50%)	特別支援学校	61(25:41%)
中学校	472(236:50%)		

合計

1,641(825:50%)

()内の数値は女子児童・生徒の人数および割合です。

入学状況

地元北陸3県を中心に、全国各地から
入学者が集まります。

全体数

入学者 1,769人
入学志願者 4,133人

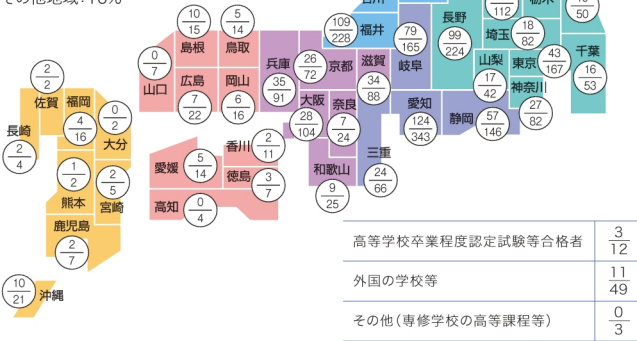
[都道府県別※入学者数(2022年度)]

$\frac{B}{A}$ B=上段は入学者数 A=下段は入学志願者数 を示す

※出身高等学校等の所在地による。

[入学者地域別割合]

北陸三県:43%、関東・甲信越地域:24%、
東海地域:16%、近畿地域:8%、
その他地域:10%

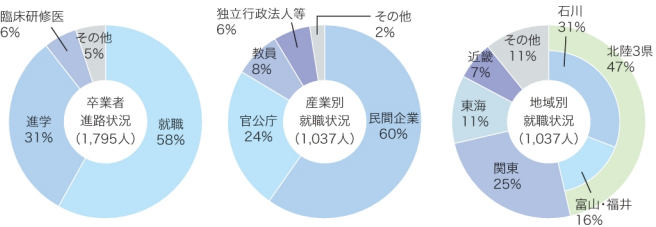


高等学校卒業程度認定試験等合格者	$\frac{3}{12}$
外国の学校等	$\frac{11}{49}$
その他(専修学校の高等課程等)	$\frac{0}{3}$

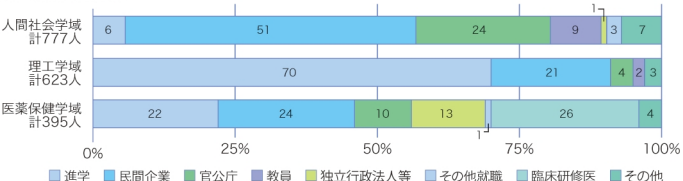
卒業後の進路状況等

学士課程卒業者の累計は98,404人に達し、社会の各方面で活躍しています。

[2021年度卒業生進路状況・産業別就職状況・地域別就職状況]



[学域別進路状況]



※グラフの「% (パーセント)」表記は、小数点第1位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。

4 研究

学術論文数・学術論文被引用数

大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つである「学術論文」の被引用数。分野別では、薬学・毒性学分野、地球科学分野でいずれも国内大学11位と優れた研究実績を有します。

[日本の論文の引用動向 2012.1-2022.2 日本の研究機関ランキング]

【①全分野(ALL FIELDS) 7,752機関】(論文被引用数で上位1%に含まれる機関数)

国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数
1	67	東京大学	91,255	1,846,328	20.2
2	137	京都大学	64,871	1,224,185	18.9
3	245	大阪大学	49,381	836,512	16.9
4	261	東北大学	49,025	784,991	16.0
5	289	国立研究開発法人理化学研究所	28,241	713,057	25.3
6	335	名古屋大学	37,267	630,757	16.9
7	339	国立研究開発法人科学技術振興機構	20,818	616,542	29.6
8	354	九州大学	36,865	585,380	15.9
9	403	北海道大学	35,354	520,324	14.7
10	516	東京工業大学	25,992	417,381	16.1
11	528	国立研究開発法人産業技術総合研究所	24,119	407,512	16.9
12	540	筑波大学	24,815	398,385	16.1
13	547	国立研究開発法人物質・材料研究機構	15,546	390,653	25.1
14	585	慶應義塾大学	22,034	356,267	16.2
15	707	広島大学	20,863	295,432	14.2
16	732	神戸大学	18,236	285,872	15.7
17	774	自然科学研究機構	12,647	263,788	20.9
18	802	岡山大学	15,892	251,298	15.8
19	826	国立研究開発法人国立がん研究センター	8,890	240,163	27.0
20	844	千葉大学	15,565	233,056	15.0
21	888	早稲田大学	14,164	219,465	15.5
22	950	東京都立大学	7,458	204,166	27.4
23	961	東京医科歯科大学	12,009	200,049	16.7
24	1,064	信州大学	9,997	179,086	17.9
25	1,083	金沢大学	12,241	176,313	14.4

○クオリアベイト・アナリティクス社「Essential Science IndicatorsSM」データベースを基に作成。
(世界順位等の情報は上記データベースから転記。それ以外は金沢大学先端科学・社会共創推進機構調べ)

科研費

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科研費」。
2021年度の新規採択件数は全国で11位と優れた実績を有します。

[2021年度科研費 採択件数ランキング(新規採択分)]

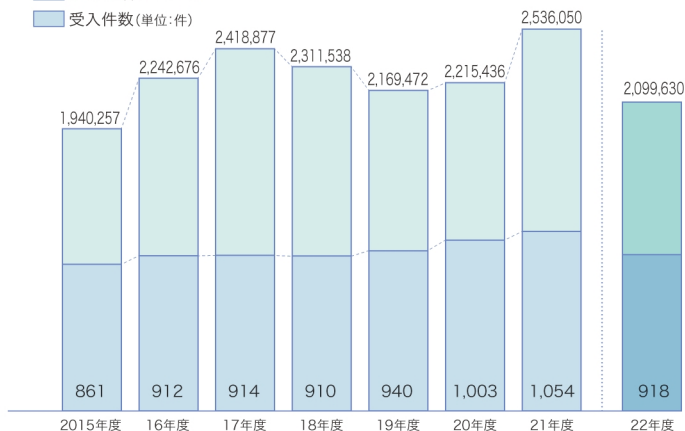
順位	大学・機関名	件数	新規採択率	順位	大学・機関名	件数	新規採択率	順位	大学・機関名	件数	新規採択率
1	東京大学	1,363	40.1%	8	筑波大学	444	30.0%	15	早稲田大学	329	36.4%
2	京都大学	1,000	39.6%	9	広島大学	421	30.9%	16	千葉大学	282	35.0%
3	東北大学	911	36.2%	10	神戸大学	367	32.7%	17	新潟大学	258	30.3%
4	大阪大学	903	34.7%	11	金沢大学	352	35.8%	18	(国研)理化学研究所	252	28.3%
5	九州大学	723	32.7%	12	慶應義塾大学	346	37.6%	19	東京医科歯科大学	235	32.2%
6	名古屋大学	638	34.5%	12	岡山大学	345	31.6%	20	熊本大学	233	30.3%
7	北海道大学	563	33.0%	14	東京工業大学	330	35.5%				

文部科学省「令和3年度科学研究費助成事業の配分について」(2021.12公表)より
※研究代表者の所属する大学等により整理している。

■2021年度の新規+継続の合計では、受入件数1,054件、交付金額25億3,605万円です。

[受入件数・交付金額の推移]

■ 交付金額(単位:千円)
■ 受入件数(単位:件)



※2015~21年度:実績

※2022年度:2022年4月現在(■採択金額, ■採択件数を示します)

■金沢大学では、申請書類作成のための説明会や研究費支援など、さまざまな方策により科研費の一層の獲得増を目指しています。

5 社会共創

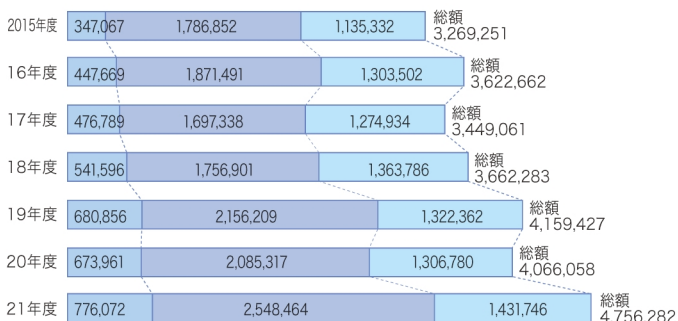
産学官連携

— 外部資金

研究成果の社会実装を目指して、共同研究・受託研究・寄附金の受け入れを積極的に推進しています。

[共同研究費等の推移](単位:千円)

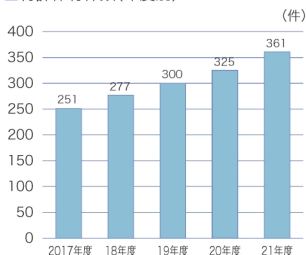
■ 共同研究 ■ 受託研究 ■ 寄附金



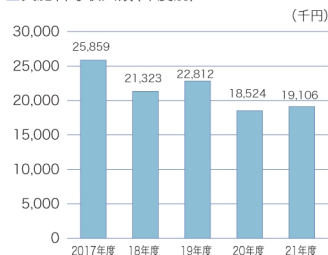
— 発明届出・特許出願

研究の成果によって生み出された大学の特許は、実施料収入等だけを得るのではなく、大学の研究成果が社会で最大限活用されるための手段として利用されています。

■ 特許保有件数(年度別)



■ 実施料等収入額(年度別)



— 研究分野別シーズ集

金沢大学の人社系・理工系・医薬保系の全領域の研究シーズをフリーワードで検索できるデータベースを作成・公開しています。

金沢大学 シーズ データベース 検索

<https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/seeds/>

— 自治体との連携協定数

石川県および富山県の14の各市町自治体と連携協定を締結しています。

- ①石川県
- ②金沢市
- ③七尾市
- ④小松市
- ⑤輪島市
- ⑥珠洲市
- ⑦加賀市
- ⑧羽咋市
- ⑨白山市
- ⑩能美市
- ⑪志賀町
- ⑫穴水町
- ⑬能登町
- ⑭富山県南砺市



— 職業実践力育成プログラム

社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムとして文部科学大臣の認定を受けています。

■ 能登里山里海SDGsマイスタープログラム

世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」など能登の豊かな地域資源を正しく評価し、能登の活性化を担う人材を育成します。多様な職種の人々との共創により、新たなビジネス創出と持続可能な地域づくりにつなげていきます。

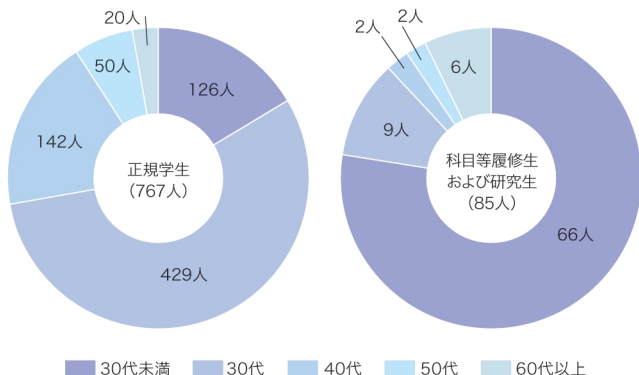
これまでに218人のマイスターを輩出

一リカレント教育

■ 社会人学生の受け入れ

社会人学生が学びやすい環境を整えるため、土日・夜間に講義・研究指導を受けられる特例措置や、入学から卒業・修了までの履修期間をあらかじめ長く設定できる制度を設けています。

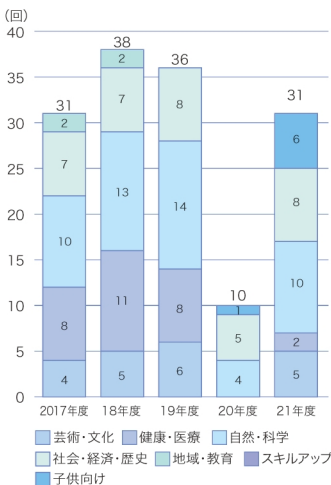
[社会人学生の年代別内訳]



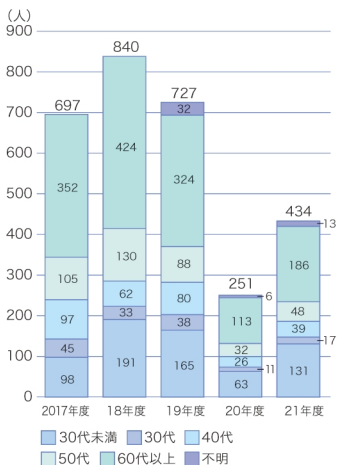
■ 公開講座

価値観の多様化、高度化する学習ニーズに対応し、一人一人の自発的な学習活動を支援するため、幅広い分野の講座を企画し、生涯にわたる学びをサポートします。また、金沢市内だけでなく、珠洲市内、小松市内にもサテライト拠点を設置し、県内全域の学習ニーズに対応しています。

[講座数の推移]



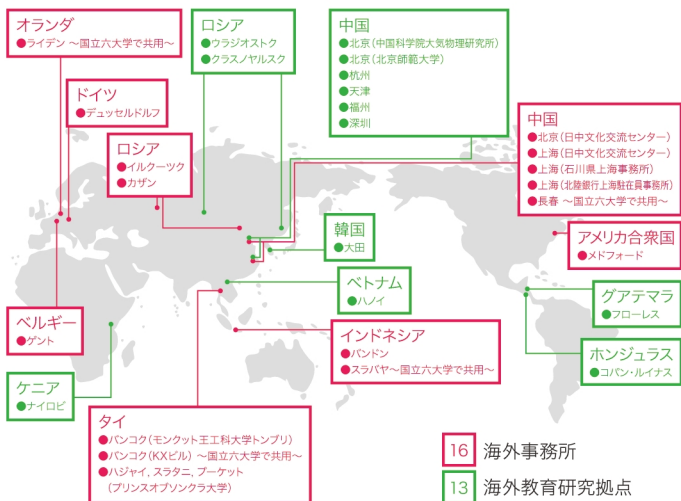
[受講者数の推移]



6 国際交流

海外リエゾンオフィス

現地での学生募集、広報活動などを目的とした「海外事務所」と、本学教員の研究活動、学生の海外研修プログラムなどで利用される「海外教育研究拠点」があります。



国際交流協定締結校

環日本海の基幹大学、東アジアの知の拠点として、世界のトップレベルの大学との交流を積極的に推進しています。

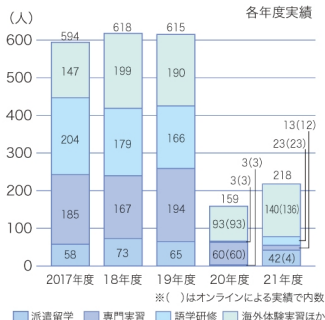
[大学間/部局間国際交流協定 機関分布]

	アジア	中東	オセアニア	アフリカ	ヨーロッパ	ロシアおよびNIS諸国	北アメリカ	中南アメリカ	国際機関
大学間 国際交流協定 217機関 (52カ国1地域)	125	8	6	3	35	16	12	11	1
部局間 国際交流協定 89機関 (27カ国1地域)	55	1	3	2	20	3	4	-	1
総計 306機関 (52カ国1地域)	180	9	9	5	55	19	16	11	2

公式海外派遣プログラム派遣者数の推移・派遣留学生数

1 沿革・組織

[公式海外派遣プログラム派遣者数の推移]



[派遣留学生の留学先(過去10年間の累計)]

(単位:人)

大学・機関名	人数	大学・機関名	人数
ドイツ	72	タイ	15
アメリカ	66	アイルランド	14
韓国	52	マレーシア	14
中国	42	カナダ	13
オーストラリア	39	チェコ	10
フランス	39	ロシア	10
イギリス	37	ベトナム	9
ベルギー	27	ノルウェー	7
フィンランド	25	ポーランド	4
スペイン	24	その他	16
台湾	22	派遣総計	557

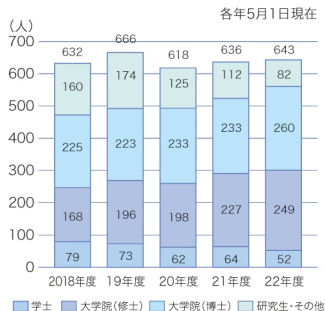
※2020年度よりオンラインによる実績も含まれます。

2 基礎データ

3 教育

外国人留学生の推移・地域別数

[外国人留学生受入状況の推移]



[外国人留学生の出身国・地域]

(単位:人)

国・地域(上位10カ国)	人数	地域別	人数
中国	336	アジア	581
インドネシア	77	ロシアおよびNIS	24
タイ	41	ヨーロッパ	11
ベトナム	31	アフリカ	9
バングラデシュ	23	中南アメリカ	7
ロシア	21	中東	6
台湾	16	北アメリカ	5
マレーシア	15	受入総計	643
モンゴル	12		
韓国	10		

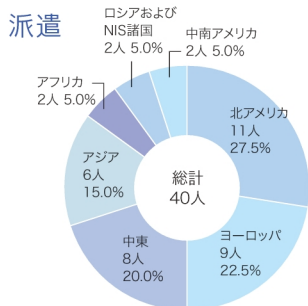
4 研究

5 社会共創

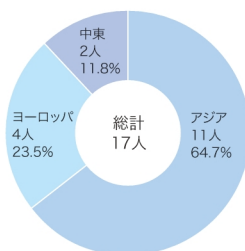
研究者等派遣・受入数

[研究者等交流実績(2021年度)]

※グラフの「(パーセント)」表記は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。



受入



6 国際交流

7 附属病院／附属図書館・資料館

7 附属病院／附属図書館・資料館

附属病院

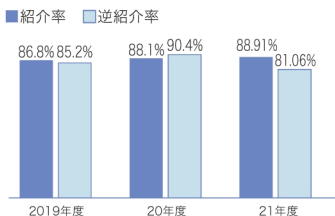
附属病院は35の専門診療科の下、地域の病院・診療所、保健行政機関や医師会等との地域医療支援ネットワークづくりを進めています。

[附属病院診療状況等]

診療科数		35科		ベッド数		830床	
診療状況	外来	延べ患者数	375,675人				
		1日平均患者数	1,552.4人				
	入院	延べ患者数	224,315人				
		1日平均患者数	614.6人				
		平均在院日数	14.1日				

※外来診療日数242日 ※診療状況は2021年度

[患者紹介率]

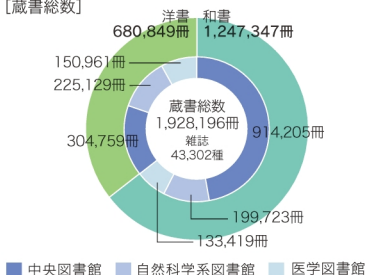


※紹介率は、附属病院を受診した患者さんのうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合。逆紹介率は、附属病院から他の医療機関に紹介した患者さんの割合。これらの率は地域の医療機関との連携の指標です。

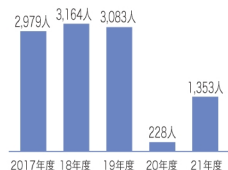
附属図書館

附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)および医学図書館(宝町・鶴間キャンパス)の3館で構成されています。

[蔵書総数]



[学外からの附属図書館利用者数]

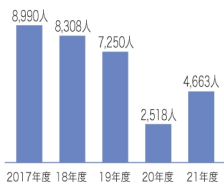


入館者 391,304人
貸出冊数 95,547冊

資料館

モノ資料約77,000点、文書資料約11,000点の計約88,000点の資料を収蔵し、展示・閲覧等に供しています。

[資料館入館者数]





金沢大学

KANAZAWA UNIVERSITY

発行 / 金沢大学総務部広報室

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL.076-264-5024 FAX.076-234-4015

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/>

※このリーフレットの掲載内容および最新ニュースなどについては、金沢大学Webサイトでもご覧いただけます。

※データは特別な記載がある場合を除き、2022年5月1日現在のものです。

